

神北齋漫畫十二編全

144



北畠漫画ハ顧愷之井籬を  
 食ふが如く所佳境不入  
 十二編ハ臻て狂態の出筆力  
 尤もあつては僧の徒と  
 軽重と輪ト一蝶が鞠と



高僧とあるをよづー繪難  
ふたひきるといふでう閑然  
そらりを得ん

天保甲午春

可保あり

北齊漫十編  
齋盡貳圖







笑門小  
福来





相馬  
公家







公時  
遜興







見  
山  
後





綻



仰天

雷乃  
怪哉







囁み



廉想







隘物

大囊









素麵



附食

唐人踊リ





塩治  
判官



天眼鏡

股野







千人切









和藤内  
休足





浄瑠璃  
出情



治療

天狗北面を  
風呂鋪小  
包七







鐃鑄懸小  
鉤鐘





引帶

獵師



參念佛





釣の  
魚



同河童を釣の法



縦



横



膽  
辛  
成





餅屋  
餅ハ



灰吹  
大蛇







早飛肺

眼療



泥田  
棒





雲雀山  
餓鬼之助

獨相撲



立白江  
菰ま巻く







蛸  
天  
上



屎  
別  
取



蠻国の  
灸治





鯉登り



風呂屋





耳垢



鍋蓋



かんきん







福引





北齊書

彩色入全三冊

文章紙假て参集孝とのハ生詞実にあさる多しこれでも前北齋為一稿は  
 生身は府小立て画名海内より東にたりふ里に雷く雷霆也ども其要は  
 かく実形紙刀をいふに文も胡足る人々今翁の画諸紙にて概本素に  
 筆形字もさう云々情の山川第亦もおづる画中に具妙と云況や人物に  
 於てハ変態神とあつるを禱け及さる紙の素妙紙を以て故人いそく画中ね  
 わり内中ハ画ありと和歌連儼小遊み録も此翁の画紙を見れば其案を以て  
 其詩のさあらんやうて画を筆あぶ人ハ千種筆示の筆を以て

極画神事ある

彩色入全一冊

い画快ハ神仏衆事の耐家のきの朝あさはかけ或ハ社内あかち中なかつまでいあ概ハ性しやうあが  
てんの二ふたまを主意しゆいとまふや彼川柳点あなのむすきはく人ひと情じやうは無な一いつたけいこに  
あしりてふひ美虎先生例みこ乃有穢古実しやうを交まじへ主唯俗眼しゆを  
あまふ臥ふいこをを種くさねしり



彫工 江川留吉



